

何が残るのか、残すのか、何をやっていくのか

KBIC
基盤技術セミナー
川崎市と財団法人川崎市産業振興財団

パネリスト

元三井化学理事、元サンメディカル社長

金子 壽光氏

慶應大学理工学部准教授、SNT社長

白鳥 世明氏

サイバーレーザー社長

関田 仁志氏

アイアール社長

高橋 一郎氏

長津製作所会長

牧野 俊清氏

コーディネーター

日刊工業新聞社相談役 千野 俊猛氏

川崎市と財団法人川崎市産業振興財団(曾禰純一郎理事長)は3月8日、KBIC基盤技術セミナー「日本のものづくり何が残るのか、残すのか、何をやっていくのか」を開いた。国際的なコスト競争が激しさを増す中で、中小企業の置かれている立場は厳しい。2008年のリーマンショックから徐々に立ち直りつつあるとはいえ、現状は展望が描けないビジネスマインドの低迷感が漂う。そこで、財団が運営するかわさき新産業創造センター(KBIC)で最先端の事業分野、研究分野に取り組む人々とともに足元のしっかりした再活性化について川崎から発信するため、基調講演、パネルディスカッションを行った。

パネルディスカッション



白鳥氏



ます。国内の設備投資、

産学がベクトル合わせて

白鳥氏

ます。国内の設備投資、

ます。

ます。